

令和6年度 学校自己評価システムシート（私立武陽学園 西武台高等学校・西武台新座中学校）

R6年度 最終報告

目指す学校像	将来の社会の変化に対応できるしなやかな知性と耐性のあるたくましい精神の育成。急激な社会変化の下においても、主体的に生涯にわたり、学び続ける方法を身につけさせる。
重点目標	スクールミッション「未来をデザイン—創造力と人間力、個の育成」 1 校訓を尊重した学校運営を基礎に、心豊かな体験を通して耐性のある心を育成する。 2 学ぶ時間の確保及び学びの質を上げ、時代に即した学び方を身につけ進学実績の向上を目指す。 3 各コースの特徴を生かし、進路選択の幅を広げる指導の強化を推進する。 4 学校行事・部活動の充実を図り、心技体の調和のとれた、明るくたくましい健全な精神の育成を推進する。 5 中学校・高等学校一貫教育コースの特長を更に強化・発展させる。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学校の評価は学校評価懇話会及び、第三者評価委員で実施。

3月に予定
第三者評価委員会
出席者 関係者 2名
ヘアリングで実施。
学校評議員会
一般関係者 5名

学 校 自 己 評 価								学校関係者評価
年 度 目 標					年 度 評 価（令和7年3月までの経過）			実施日 第三者評価委員会
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の中間報告	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・評価・要望等
1	学習環境整備と学力の向上	- 生徒の持つ学力を一層伸ばし学びに対する姿勢を育成。 - 新たな学力、思考力・判断力・表現力の育成を目指す。 - 探究・問題解決力の具体的な指導とその評価方法を再検討し評価手順の確立を推進。 - 英検の資格認定を一層強化。 - ICT教育の更なる発展。	- 授業評価実施と評価に基づく反省と改善。 - 英検等の合格数改善。 - 学びコーチングの活用度。 - 英語会話授業ベルリッツの充実とその活用。 - 教科における家庭学習の指導。	- 授業評価の満足度とその割合。 - 生徒の進路第1希望実現の伸び率とその結果。 - 電子黒板・タブレット端末の利用度。 - ICT情報活用力とアクティブラーニング活用と効果度。 - 学びコーチングの進歩への活用。 - ベルリッツの生徒評価。	- 全体的に生徒の授業満足度は向上した。進学実績は後日。 - 電子黒板の利用は進展した。 - 非常時のリモート授業も支障なく計画的に実施された。 - 日常の欠席者へのリモート要求もあるが今は対応できない。 - 学びコーチング活用は検討中。 - ベルリッツの生徒評価も好評。	A	- 授業評価での生徒の満足度は更に上げていきたい。 - 電子黒板の活用度またリモート授業も支障なく必要な場合は直ちに実施出来るようになった。 - 学びコーチングの活用は内容も含め更に検討を要する。 - ベルリッツの活用は今後とも、更に活用を進めたい。	第三者評価委員の構成 評価員2名。 お二人とも大学教授の方で実施予定であったが別々にヘアリングをし実施とした。
2	進路指導の推進	- 各行事の教育的効果は高く計画的実施と一層の充実を図る。 - 生徒の第一希望実現のため進路指導組織の改善とそのアプローチへ改革を進める。 - 大学入試へは指定校、総合型選抜、一般入試の内特に総合型選抜の対応を見直し、効果的な指導への改善を図る。	- 選抜Iコースへの学び方とその指導結果。 - 就職活動の支援と充実。 - 難関校、上位校受験の特別対策指導の実施。 - キャリア教育の実施と改善。 - アソートクラスへの指導とその効果。	- 選抜Iコースの目的達成度特に中堅大学等の進学実績の伸び率。 - 家庭学習時間の伸び率。 - 就職先の確保の状況。 - 探究内容等の記入及び調査書への新たな評価基準の方向性が基準が合意となるかが大事と認識。	- 進学の伸び結果は改善された。 - 就職も希望者は公務員の結果が出ている。 - 学びコーチングを使って英語の学びには成果を上げてきた。 - 家庭学習時間の伸びは増加。 - 新たな探究等の学習評価方法は継続審議となっている。	A	- 進路実績は大幅に改善された。この形で今後も改善に向えられるよう計画したい。 - 学びコーチングもより活用に勤めたい。 - 家庭学習時間における増加の課題の出し方はもっと工夫をしたい。 - 探究等の評価の改善を務めたい。	
3	生徒指導の推進	- 日常における挨拶を中心とした基本的生活習慣の育成。 - 学校行事・部活動等を充実し生活意識の向上を図る。 - 交通事故防止の徹底。 - いじめ防止や他のハラスメントへの対応の推進。 - 防災意識の向上と避難方法徹底。 - SNS利用の注意とその被害を認識し利用への意識改革を図る。	- 挨拶の日常的励行の指導。 - 服装等の規定の遵守とその指導の在り方を改善。 - 自転車の安全な乗り方指導強化。 - 携帯電話等の使用マナー改善。 - 個人情報等の拡散防止とその危険への啓蒙を一層進める。 - 相談室の活用度。 - 防災訓練実施と地域との連携。	- 基本的生活習慣の確立状況。 - 自転車による交通事故の減少数。 - 特別活動・部活動の成果。 - いじめ防止とその実際の有無とその対策。 - 相談室の活用とその効果。 - インターネット、スマートフォン使用方法等のトラブルの減少へ。	1年の研修も予定通り実施され学校内は落ちついてきた。 - 特別活動の成果はほぼ例年通りで全国総体出場の結果も出した。 - いじめ等にしても相談室の機能は十分果たしてきた。 - スマホに関しての使用上の課題は以前として多い。	B	- 生活習慣を年間を通して今一度改善の方策が必要。 - 部活動等も個々には実績を上げてくれた年であり今後に期待したい。 - SNS等の課題は依然として多い。生徒に研修をしたその中で意識が追いついていない事案も発生し課題が多い。	
4	研修体制の拡充	- 教師として、高いモラル意識の育成。 - 新規採用職員の研修の充実。 - 様々なハラスメント防止に対し研修を通じ一層の意識改善の推進。 - 新教育課程をにらみ実施上の簡明化を図る。	- 初任者、10年次等を含め、計画的な研修の実施。 - 年間を通じ授業公開を実施。 - 生徒による授業評価の改善。 - ハラスメントの資料啓蒙実施。 - 新評価への統一基準を再検討し評価方法の簡明化へ。	- 初任者研修実施の指導力評価。 - 研修体制は現在の方法での効果度がどの程度か確認。 - 生徒指導上や日常の生徒指導方法細やかな在り方研修。	- 初任者研修も様々な面から実施してきた。今後は担任としての日常的指導の効果に充実。 - ハラスメントの研修も弁護士にも依頼し実施となった。 - 今年はAI活用とICT活用の研修会の内容も実施した。	B	- 職員研修は計画通り実施された。 - ICT環境整備の改善が必要。 - モラルの向上は様々な面に渡って啓蒙したが、課題が多い。 - ハラスメントに関してもより忘れた頃に出ることも多く研修を深めたい。	学校評議員評価 実施日 12月
5	開かれた学校づくり	- 授業及び教育内容の公開。 - ホームページを充実し日常的な発信を進める。 - 国際理解教育の在り方の改善。 - 新発足したSTEAM教育の実施したその成果を還元。	- 説明会及び、中学校・塾等の連携を新たに模索。単願数の確保。特にSTEAM教育の実績活用。 - ホームページ活用とSNSの積極活用の効果度。 - 埼玉大との高大連携強化。	- 第三者評価委員会の評価を含めた学校自己評価の公開。 - オープンキャンパスによる学校体験の実地見学の達成度。 - ティンデール校と交流の見直。 - セントドミニクス校との交流を進める。	- 評価委員会はできるだけ実施したいとしている。 - 夏のオープンキャンパスは相談会を中心として実施した。 - 企業連携は特にSTEAM教育で広がりを持った研修会が実施された。	D	- 一昨年の影響があり、女子の希望者が大幅に減った。これの対応は来年度様々な方策で対応する必要があると認識している。 - STEAM教育はで広がりを持った研修会が実施され、今後の期待が大きい。	学校評議員構成 保護者会関係者 3名 新座市文化協会 1名の構成 学校教育の方向性は大きく理解して頂いた